

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【公表番号】特表2012-515754(P2012-515754A)

【公表日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2011-546964(P2011-546964)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/58	(2006.01)
A 6 1 K	31/7048	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	25/20	(2006.01)
A 6 1 P	15/10	(2006.01)
A 6 1 P	25/30	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)

C 0 7 J 71/00 (2006.01)

C 0 7 J 21/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/58

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 21/04

A 6 1 P 21/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/02

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 25/18

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 25/22

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 25/20

A 6 1 P 15/10

A 6 1 P 25/30

A 6 1 P 17/04

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 1/08

A 6 1 P 11/02

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/14

C 0 7 J 71/00

C 0 7 J 21/00

【 手続補正書 】

【 提出日 】 平成25年1月17日 (2013.1.17)

【 手続補正 1 】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

色素性網膜炎または緑内障誘発性視神経変性の治療のための、A / B - c i s フロスタン、フロステン、スピロスタン及びスピロステノイド性サボゲニン及びそのエステル、エーテル、ケトン及びグリコシル化型から選択され、恒常性を制御した状態で非毒性態様の対象の天然 N F s を調整することによって、対象の神経栄養因子 B D N F と G D N F の自己制御恒常性を誘発する薬剤。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の薬剤において、前記薬剤が、サルササボゲニン、スミラゲニン、エビスサルサボゲニン、エビスミラゲニン、チモサボニン B I I、メタゲニン、サモゲニン、ジオチゲニン、イソジオチゲニン、テクソゲニン、ヨノゲニン、メクソゲニン、及びマルコゲニン、及びこれらの対応するエステル、エーテル、ケトン、及びサボニン（グリコシル化）型から選択されることを特徴とする薬剤。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の薬剤において、前記薬剤が、サルササボゲニン、スミラゲニン、及びこれらの対応するエステル、エーテル、ケトン、及びサボニン（グリコシル化）型から選択されることを特徴とする薬剤。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の薬剤において、前記薬剤がサルササボニンおよびスミラゲニンから選択されることを特徴とする薬剤。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の薬剤において、前記一又はそれ以上の薬剤が、代謝アジュバント、ケトンの本体レベルを上げる化合物（ケト原生化合物）、トリカルボキシル酸（T C A）サイクル中間体、インビボで T C A 中間体に変換可能な化合物、エネルギー強化化合物、及びこれらの混合物から選択された一又はそれ以上の補助薬剤と共に使用されることを特徴とする薬剤。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の薬剤において、前記一又はそれ以上の薬剤が、当該薬剤と、例えば医薬組成物（薬剤）、フードスタッフ、フードサプリメント、又は飲料（例えば、炭酸入り飲料）、又は、化粧品、眼又は皮膚（皮膚科）組成物などの局所組成物といった、適宜の好適な追加成分を含む組成物において投与されることを特徴とする薬剤。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の薬剤において、前記一又はそれ以上の薬剤が、一又はそれ以上の可溶化剤及び / 又は懸濁化剤及び / 又は分散化剤を伴う組成物中に存在しており、前記薬剤が前記組成物中の、例えば、中鎖トリグリセリド（M C T s）又は中鎖脂肪酸（M C F A s）などの、溶液、又は、懸濁液、又は分散液中に維持されていることを特徴とする薬剤。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の薬剤において、前記薬剤が経口投与されることを特徴とする薬剤。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の薬剤において、前記薬剤が局所投与されることを特徴とする薬剤。